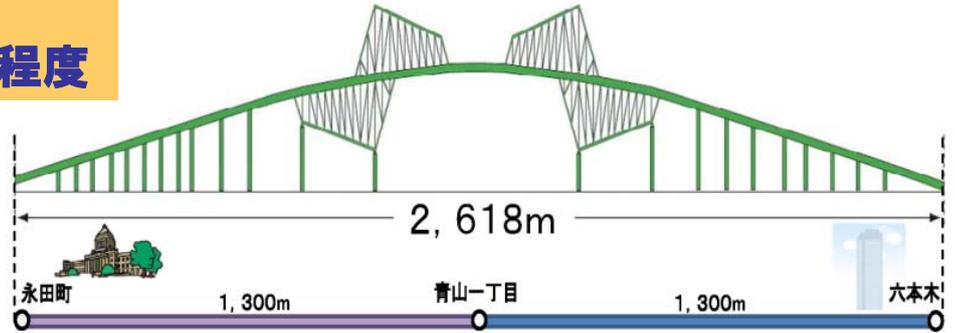


東京港臨海道路Ⅱ期事業のスケール

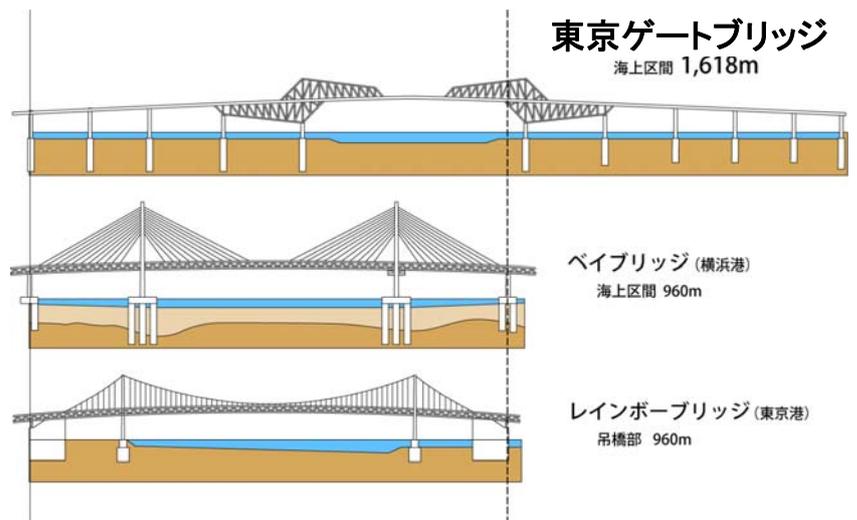
- 東京ゲートブリッジは、羽田空港に近接していることによる高度制限、東京港第三航路をまたぐことによる桁下の高さ制限から、これらの条件を満たすトラス構造を採用しています。
- 東京ゲートブリッジの全長は、2,618mで東京～浜松町間と同程度です。また海上区間は、1,618mでベイブリッジの約2倍です。さらに水面から橋梁最上部までの高さは、87.8mで25階建てビルの高さに相当します。



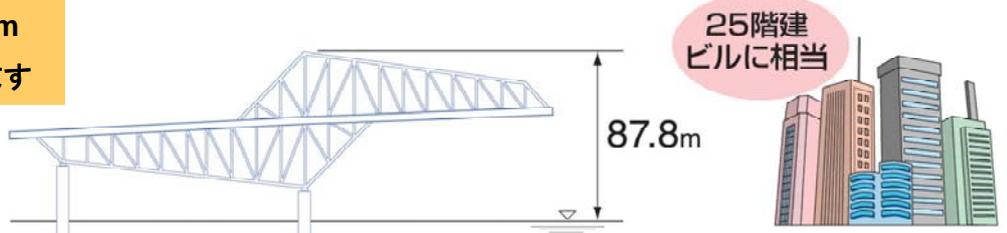
東京ゲートブリッジの全長は、
永田町～六本木間と同程度



海をまたぐ長さは、
ベイブリッジの約2倍

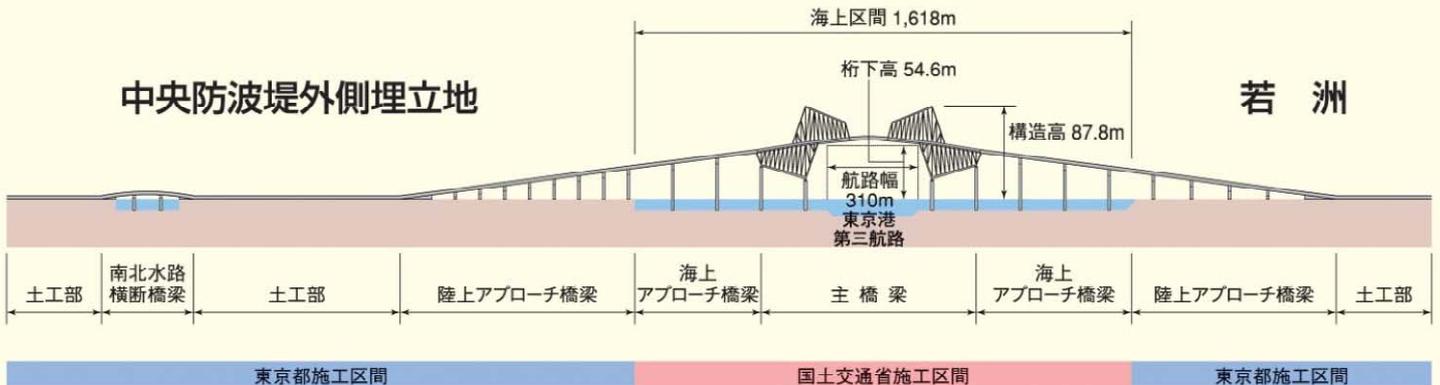
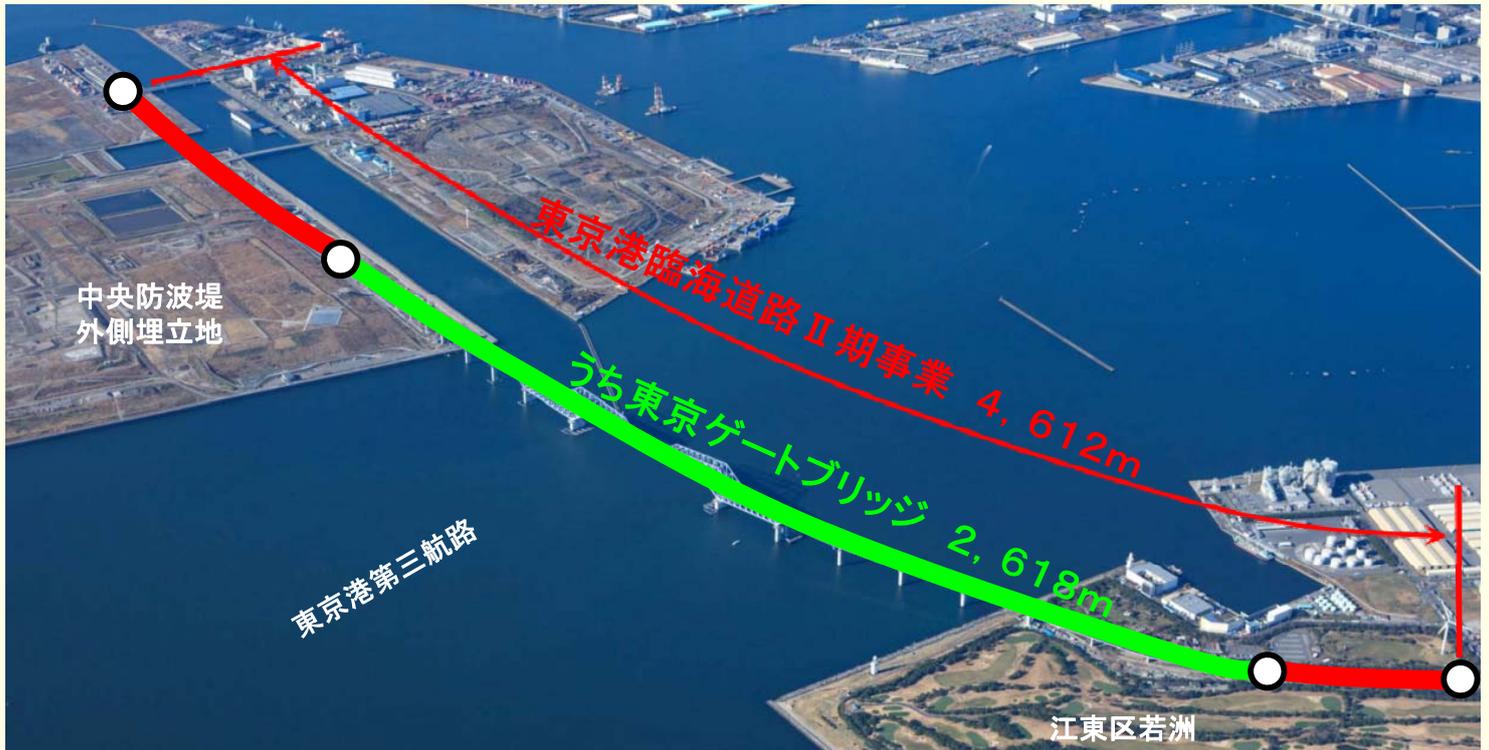


海面からトラス最上部までの高さは87.8m
25階建てビルの高さに相当します



東京港臨海道路Ⅱ期事業区間の構成

■東京港臨海道路Ⅱ期事業区間は全長4,612mです。このうち2,618mが橋梁区間(東京ゲートブリッジ)です。車線数は陸上部が往復6車線、橋梁部が同4車線です。なお橋梁部には都心部側に歩道がつきます。



橋の諸元

上部構造	主橋梁部	連続トラスボックス複合構造
	陸上・海上アプローチ橋梁	連続鋼床版箱桁構造
下部構造	橋脚	RC構造
	基礎	鋼管矢板井筒構造
桁下高	A.P. +54.6m	
構造高	A.P. +87.8m	

橋梁部路面図 (若洲から中防へ向かう場合)

